

## No.1960

4月25日例会	プログラム	「NPO法人ミントハウスの活動」	NPO法人ミントハウス代表	東森二三子様
5月9日例会	プログラム	「創立40周年記念式典打ち合わせ」	実行委員長	藤田尚徳君
4月25日のメニュー	・米山ランチ（・スパゲティーナポリタン・チキンコンソメスープ・ポテトサラダ・コーヒー）			

## 前回（4月18日）例会記録

出席報告	会員総数	36名(内出席規定適用免除者2名)	出席者数	24名	欠席者数	10名	出席率	70.59%	前回補正率	79.41%
	前回補正者	白石君 槌田君								
	欠席者	藤原君 花岡君 東川君 井上君 三宅(照)君 仲田君 中山君 大久保君 島田君 山田(次)君								

### 会長挨拶

皆様は、3R（スリーR）推進キャンペーンについてご存知でしょうか。我が国の経済は、今日まで「大量生産」「大量消費」「大量廃棄」によって発展してきました。この経済システムによって生み出された廃棄物は増大の一途をたどり、廃棄物の処理が大きな社会問題になっています。特に、一般廃棄物の内、容量で60%、重量で20%を占める容器包装廃棄物の処理が緊急の課題になっています。2007年に「容器包装リサイクル法」が改定・施行され、これを広く推進するために3R、つまり reduce（廃棄物の発生抑制） reuse（廃棄物の再使用） recycle（廃棄物の再資源化）で循環型社会を目指しています。レジ袋は、1年間に約300億枚（1人1日1枚）がゴミになっております。最近、レジ袋の有料化がぼつぼつ聞かれますが、売上の減少の問題もあり、まだまだ難しい問題です。我々個人が、1人でも2人でも、マイバックを持参してレジ袋の使用を減らす努力をしたいと思います。

### 会長報告

- ・本日、玉野RC40周年記念実行委員会から打ち合わせ会を行いますので、例会終了後に担当の方はお残り下さい。

### 幹事報告

- ・森下ガバナー事務所より『友』インターネット速報331が届いています。
- ・森下ガバナー事務所より三宅雑誌・広報委員長あてに『地区雑誌・広報委員長会議』への参加御礼が届きました。
- ・森下ガバナー事務所より『ロータリー青少年指導者育成プログラム（RYLA）』の案内が届いています。  
2008年5月25日(日)各クラブより1名以上参加。
- ・RIより『ロータリー・ワールド』が届いています。
- ・玉野市教育委員会より『職場体験活動への協力依頼チラシの配布』の依頼文が届いています。
- ・当クラブの例会変更をBOXに入れていきますのでご確認ください。  
\*平成20年5月2日(金) RC定款第6条1節により取りやめ。  
\*平成20年5月23日(金) 例会場所をダイヤモンド瀬戸内マリンホテルに変更。
- ・他クラブの週報・例会変更通知につきましては閲覧いたします。

### 委員会報告

- ・親睦・家族委員会（三宅孝治委員長）：親睦委員会と致しましては、毎年家族例会などを企画しておりますが、今回、玉野RC40周年記念式典、及びパーティーに皆様のお参加をお願いしておりますので、親睦委員会の予算の中から、25万円をこの経費として割り当て、第4回目の家族例会とさせていただきます（理事役員会了承）。なるべく、ご夫婦でご出席下さい。
- ・玉野RC40周年記念実行委員会（藤田委員長）：昨日の第6回国際ソロプチミスト玉野チャリティゴルフコンペに多数の方のご参加を頂きましてありがとうございました。本日、40周年記念式典の会員の役割と式次第の原稿を持って参りましたのでご覧下さい。この後、例会終了後、担当委員長の方は会議を致しますのでお残り下さい。（詳しくは原稿をご覧ください。）

## スマイル・ボックス

- ・谷口幹事 - 昨日のソロプチミストチャリティコンペ、お世話になりました。(3位になりました)
- ・富永君 - ソロプチゴルフで瀬戸大橋賞を頂きました。
- ・白石君 - 野球が始まりました。巨人の優勝は確実と思いますが、阪神もこのままいくと 111 勝 33 敗になります。  
誕生日祝
- ・大久保君 - 結婚記念日祝 欠席。
- ・三宅(保)君 - 本日卓話します。
- ・緋田君 - 4月25日欠席。      ・榎田君 - 先週欠席。      ・大西君 - 早退します。(手術の為)

## プログラム 「社会奉仕活動について」 委員長 三宅 保昭君

本来、この社会奉仕の卓話は、社会奉仕の月間であります 10 月に行う予定でありましたが、私の体調不良の為本日にになりました。本日は、社会奉仕についての主要なポイントについてお話をさせていただきます。

去年の5月20日に岡山県総社において、地区協議会がございました。会長幹事と4大奉仕委員長で出席して参りました。この日は八ニカミ王子が誕生した日でありましたので良く覚えております。この地区協議会に出席するにあたって、あらかじめ地区から、アンケートの依頼がございまして、内容は社会奉仕に関する 1923 年、1992 年の声明について読み、「社会奉仕活動を行うにあたって、どの様にこの声明を反映させましたか。」又、「クラブメンバーにこの声明の内容をどの様に周知させてゆくか」という事に対して考えを述べて下さいという事でした。

そこで私は、「ロータリアンの社会奉仕とは、ロータリアン個々の生活、事業生活、社会生活に奉仕の理想を適用する事を奨励されており、これを育成する事である。社会奉仕はロータリアンの超我の奉仕を実証する機会です。地域の人々の生活の質を高め、公共の為に行う奉仕は、ロータリアンとロータリークラブにとっても社会的義務です。奉仕の論理を実践に移す前に、ふさわしい場所として、エコライフ玉野の会員、J C 会員、地域に住む方々と協調し、環境への意識を高め合いながら目的達成に向かって、歩みを共に出来る事は、ロータリークラブの知名度の向上をはかり、ロータリークラブに対する認識を深める機会となり、広報活動にも有益である。エコライフ玉野の活動は、プロジェクトを組み合わせながら長期にわたるので、ロータリアンは個々の都合に合わせて参加の機会が求められ、奉仕の訓練の場として適しており、且つ新会員を掘り起こす上でも大きな魅力を秘めております。」と回答いたしました。会員の周知については、「10月の社会奉仕月間にスピーチを行い、声明の周知を図りたい。」と回答致しました。

そこで、「社会奉仕に関する 1923 年、1992 年の声明」とは、どういうものかという事なのですが、三宅委員長により、1923 年、1992 年の社会奉仕に関する声明が朗読されましたが、長文により手続要覧・第 6 章・社会奉仕の覧をご覧下さい。(会報委員) 以上のような点に注意して社会奉仕活動の計画を組み合わせたいというのが指針であります。

今、この社会奉仕活動がどのような点で注目されているかと申し上げますと、「環境保全」これは、地球の温暖化をはじめとして、非常に沢山の課題がございます。次に「高齢者への心づかい」又「薬物乱用の防止」「識字率の向上」が社会的に関心の高い課題です。これらの事をふまえ、ロータリークラブは各課題の物質的、社会的、経済的ニーズに応える社会奉仕プロジェクトを実施する責任を負っているのではないのでしょうか。

最後に、社会奉仕委員会の設置・運営は「玉野ロータリークラブ細則・第 7 条・第 3 節」に出ています。ご覧になって下さい。又、財務の問題がございまして、これが社会奉仕活動に関しまして、非常に重要な部分であります。社会奉仕活動は多額な資金を必要と致します。そこで、この資金をどこから求めるかという事になりますが、これは「スマイルボックスから求めて下さい。」というように言われておられて、「スマイルは特別会計で処理し、社会奉仕活動をはじめとする、奉仕の善使として使う」と規定されております。ですから、この財務に関しては、この規定に基づいてきちっと行うべきだと思います。